



政務活動費收支報告書

令和4年2月15日

(あて先) 飯能市議會議長

議員氏名 野口 和彦

飯能市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり令和3年度の政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 政務活動費 165,000円
 2 支 出 86,890円

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研修費	86,890	令和3年11月5日～7日加賀プロジェクト研修
調査研究費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
人件費		
事務所費		
その他の経費		
合 計	86,890	

3 残額 78,110円

- (注) 1 備考欄には、支出の内訳を記載すること。
 2 領収書その他支出を証する書類の写しを添付すること。
 3 政務活動費收支報告書に係る政務活動事業実績報告書を添付すること。

様式第5号（第5条関係）

政務活動事業実績報告書

議員氏名 野口和彦

飯能市議会政務活動費の交付に関する規則第5条第2項の規定により、令和3年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

月日	事業名	事業概要及び成果等

令和3年11月 5日	加賀プロジェクト イシキカイカク株式 会社 代表取締役 神谷宗幣氏	<p>加賀プロジェクト 加賀市 人口 67000人 観光客数はピーク 600万人から 150万人に 日本海に面する港まちと温泉街のある街 中心は大聖寺、加賀 100万石のうちの 10万石 加賀スマートシティ宣言</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デジタルファースト 2. クリエイティブ 3. スマートシチズン 市民との共創 <p>加賀市ロックチェーン都市プロジェクト 加賀ポータル 株式会社スマートバリューとのコラボ 「加賀プロジェクト」とは、 学校を中心とした新しいコミュニティをつくり、面白い大人を集めて、これから日本のリーダーを育成するプロジェクト</p> <p>面白い大人の定義 →チャレンジ精神で自分で考えて行動出来る</p> <p>加賀プロジェクトコンテンツ</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. キッズスクール 認可外保育園 3. フリースクール 小中学校 4. 私塾 高校・大学+寮生活 5. コワーキングスペース、カフェ 6. 自然栽培ファーム 7. 移住者マルシェ 8. エコビレッジ <p>学びの軸</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人としての哲学、人としてどう生きるのか、15歳で大人 2. 知識 3. 技術 <p>若者の現状 病んでる現状、自殺、癌が増えている</p> <p>日本の若者の意識 自分で社会や国を変えられると思う 18% (日本財団 18歳意識調査)</p> <p>自分の国の将来についてよくなると思う 9% (日本財団 18歳意識調査)</p>
---------------	---	--

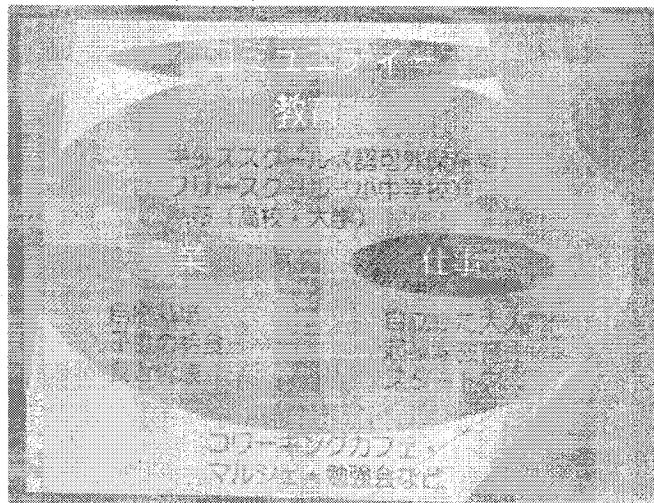
	<p>日本の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人材がいない 2. 心が病んでいる 3. 体が病んでいる 4. 経済が病んでいる 5. ビジョンがない <p>江戸期の日本の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藩ごとに教育を行う ・ 義務教育ではない ・ 先生は無資格 ・ 入学、卒業とも年齢は自由 ・ 時間に決まりない ・ 授業内容に決まりない ・ 教科書それぞれ ・ 授業それぞれ <p>明治期の日本の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富国強兵 ・ 言われたことをしっかりと守る ・ みんなと同じことが出来る ・ 学力の均一化 <p>そして戦争に負ける</p> <p>英米には相手国を完全に服従させる為の学問があることを知らねばならない 旧植民地のアジア国はそれを理解している</p> <p>日本占領の究極の目的</p> <p>日本が再び米国の脅威となり、また世界の平和及び脅威とならざることを確実にすること</p> <p>現状、大学ではアメリカに占領された6年間を研究することが出来ない現状がある</p> <p>戦後の日本の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GHQによる日本占領政策の一環として行われた「戦争についての罪悪感を日本人に心に植えつけるための宣伝計画」 ・ 洗脳→30項目の報道規制 真相はかうだ ・ 民主化の一環として日本教職員組合結成を指令 ・ 日本学術会議発足
--	---

何を奪われたか？

- ・ 日本食 マクガバンレポート 癌になりやすい食
- ・ 教育を自分たちで決める力
- ・ 自分の人生を切り開いていく力
- ・ 世界のルールを考え、支配する為の学問・哲学
- ・ 1941年太平洋憲章 1943年カサブランカ会議
- ・ 民族の誇りを教えるための学問

そして出来上がったのが、決められた答えを早く出せる人が優秀という、偏差値重視の管理教育である

そこで加賀で進めているのか 3つの軸を持つたコミュニティの形成

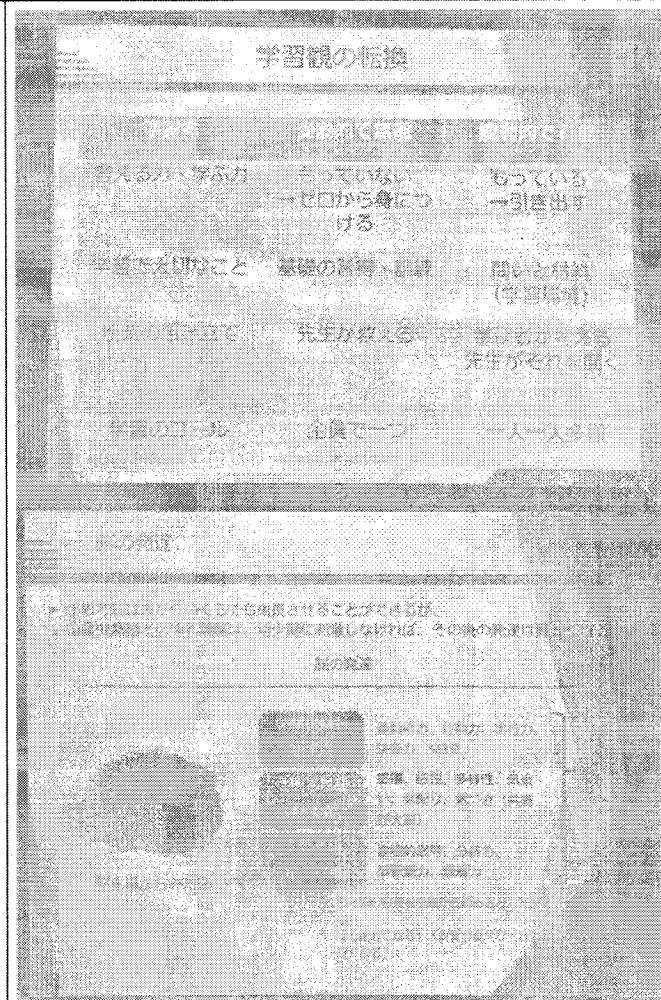


日本人は個別最適思考が強い、全体最適思考が出来る人を育てる

かがキッズスクール フリースクール
毎朝作戦会議、その日何をするか自分たちで考えて行動する

- ・ 昼食担当は買い出しからご飯づくりまで
- ・ 身体を動かす
- ・ 自然の中の体験から個性や好きなことを見つける

能動的で有能な学習観への転換が必要



真実と錯覚

事実=条件が変わっても変わらないもの

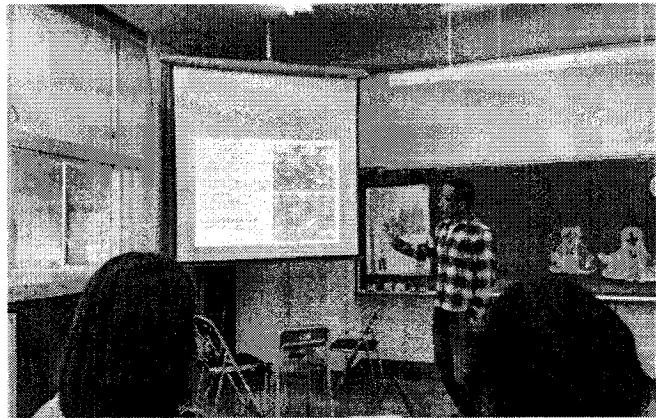
錯覚=条件が変わると変わるもの

作りたい環境

- ・ 刺激的な大人がいていつでも学べる
- ・ いつでも触れられる豊かな自然
- ・ 生活も学びも選択しててくれる
- ・ 人生や哲学を考える時間
- ・ 体をつくる安心安全の本物の食べ物
- ・ 世界の現在を肌で感じられる海外視察
- ・ 目標実現のためのビジネス実績
- ・ 子供と共に大人も成長出来る学び場
- ・ 大人向けセミナーや合宿、イベントを定期的に実施

		<p>10歳から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の課題を見つけて自分が学ぶことの意義をとらえる ・学習計画や人生計画をじぶでつくってかたちにしていく ・社会の仕組みやルールを学びそれを創造的に変革する方法を考える <p>自分で何を学ぶかを考え自分で行動する力 ↓ どんな境遇であれ幸せになる力</p> <p>今、日本に足りないリーダーシップを養う教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シリコンバレー스타트アップ ・動画配信、プランディング講座 ・コミュニティカフェ ・マルシェ ・エコビレッジ <p>フリースクール 加賀キッズスクールてくてくの杜</p>  <p>現在生徒6人、今後の移住者の受け入れ 通常の小学校に籍を置いている 子供たちの日常活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食費1人5000円で運営、お金の管理や食材選びも子供達で家庭科室で調理 ・図工室で小物をつくってマルシェで販して、また活動費にしていく
--	--	--

代表は元教員で現状の学校に疑問を抱く
吉村代表

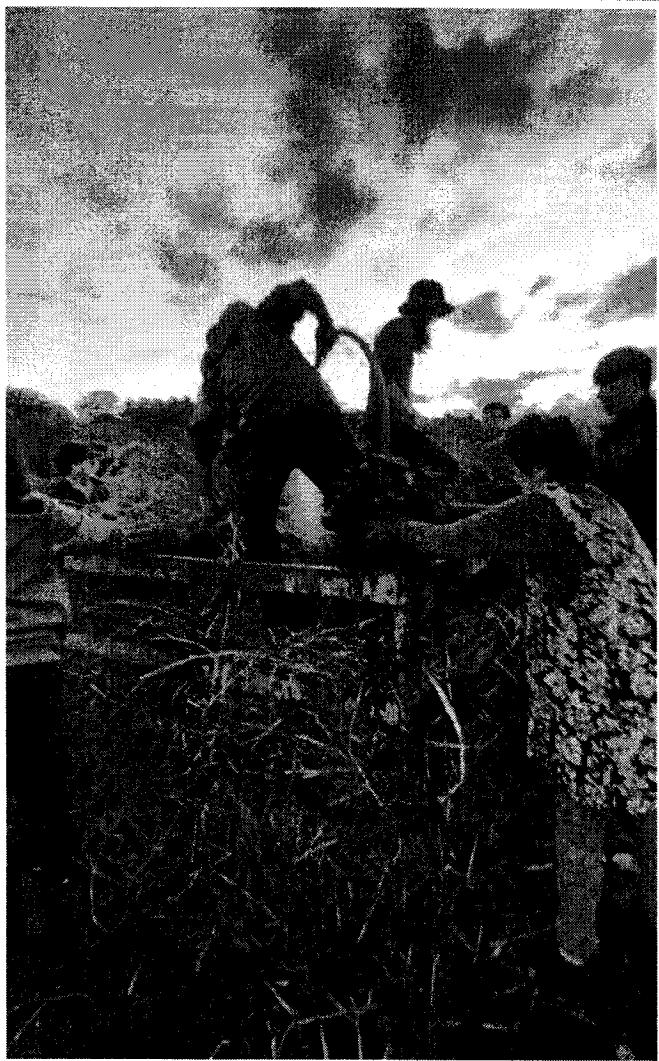


小学校で感じた違和感

- ・みんなが落ち着いて生活＝管理統制
 - ・力を入れるほど勉強嫌い
 - ・校内研究など
 - ・教員の掌の上の自主性
 - ・指示と依存の関係
 - ・誰も求めていない成績表
 - ・教員の個性が出せない
 - ・学校も特色が出せない
- フリースクールをつくるきっかけ
- ・移住してきた小学生が増えってきた
 - ・変わらないコロナ禍、厳しくなる学校生活
 - ・息抜きの場所がなく小学校がいづらいくてくつの杜の理念
 - ・ありのままの姿を認める→いつでも私は私
 - ・日々の成長を見守る→依存しない子
 - ・季節を感じ、自然から学ぶ→豊かな体験
 - ・大人こそ学び続ける→おとの背中を見て
- 歩くことを大切に
- ・移動手段は歩く
 - ・第二の心臓
 - ・歩くことのメリット
 - ・体づくりの基本

		<p>黒崎の暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何をするか、学ぶかは各自で決める ・ 大人はそれをサポートする ・ 学校についてから下校までの時間の使い方はみんなで決める ・ 時間割は今のところ作っていない ・ 大人は基本的には提案、選択肢の幅を広げている ・ 低学年は遊ぶことが中心 ・ 少しずつ個に応じて時間の使い方が変わること ・ 保育との連携(境目を曖昧に) ・ 学ぶことよりも自ら学ぶことを大切に ・ 中心は生きること、暮らすこと(食べる、活動、イベント、仕事)が暮らしの中心 ・ できるようになることよりも、できるようになりたいと思うことを大切に ・ 大人は学習指導要領を念頭に、だけど縛られない <p>学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常学習→読む、書く、話す ・ 個別自習→漢字、言語、算数 ・ 幅を広げる→社会、理科 ・ みんなで楽しむ→音楽、図工、体育 ・ お金の勉強 ・ 調理する ・ 各自分が研究→ <p>TOEC 自由な学校(徳島の事例)から、通常の中学校にはいっても追いつくことが出来ている 今後は、フリースクールの中学校 4月開校 小学校→1人で学べるようになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決 ・ 見通し ・ メタ認知 ・ 自己肯定 <p>中学校→すぐに社会に出られる準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの強みをどう活かすか ・ 仕事を作った大人に会う ・ 働く経験 ・ お金を稼ぐ経験 ・ 今から出来ることはやる
--	--	--

令和3年11月 5日	加賀プロジェクト 自然農法体験 長谷川代表	<p>費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学金 10万円 ・ 更新料 2年生から 7万円 ・ 月謝 5万円 ・ 1日参加 3000円食費込み ・ 1日参加 5000円宿泊込み(食事洗濯は自ら) <p>農業体験 長谷川さん 現在 6反を運営</p>  <p>野菜づくりは、苗半作と言われ、苗を作ることで半分は終了している その為には堆肥づくりが大切</p> <p>堆肥づくり 材料の割合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 雑草枯れ枝(炭素) 2. 雑草枯れ藁(窒素)6 3. 落ち葉 <p>水分量は 50%~60%が細菌が育ちやすい (ほんせん菌、じょう菌)など 木枠に集めて固めると 4日ぐらいで発酵して 75℃ぐらいになる 足で固めて木枠を上げながら正方形のブロック にする</p>
---------------	-----------------------------	---



日本の農業の現状

食糧自給率

カロリーベース 37%

販売ベース 65%

新規就農者 2万人のうち、5年で3割が離農、10年やつて生計が成り立っているのが3割

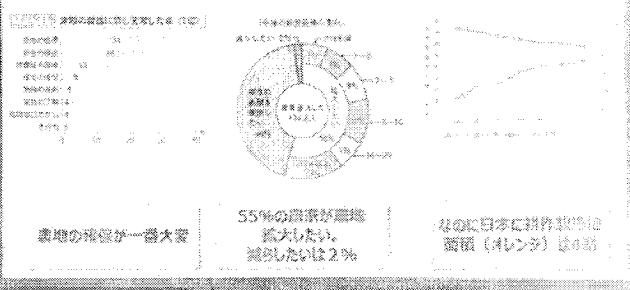
20年で農業従事者 400万人から 160万人に減少

農家の年収は平均 450万円

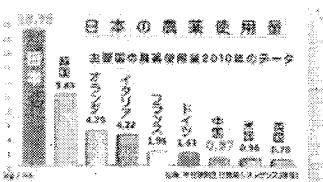
農地のミスマッチの問題

地主の了解が必要！

土地（農地）のミスマッチの問題



農薬使用の問題



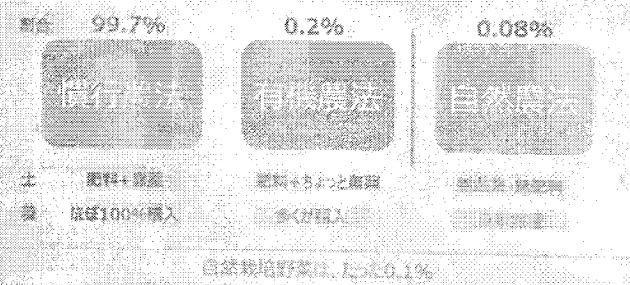
農業衰退の本質

↓
問題は様々だが、仕事に誇りを持てない、チャレンジする人が少ないのが問題

農家は自分の作った農作物を食べないケースが存在する

加賀で取り組んでいる自然栽培

私たちが取り組む自然栽培



一般的な常識は、土は養分を入れれば入れるほど良いと言われているが…

- ・ 実際は自然の土には 1g の土に数億個のバクテリアが存在
- ・ 植物はバクテリアの餌(糖)を根から発出し、バクテリアは窒素などの養分を提供
- ・ 人間の体内にも 400 兆個のバクテリアが共存している関係と同じ

- ・ 植物は本来、肥料を入れなくても、しっかりと根を伸ばし菌の力で必要な養分を吸収出来る
- ・ 肥料を入れると努力しないで根を張らなくなる
- ・ 土壌が酸性になれば、アルカリ性化する雑草が生えてくる(自然のバランス)
- ・ 土の養分が多くなると、たくさん吸収して排出しようと野菜が大きく育つ
- ・ 野菜から排出された養分を中和する為に虫がどこからともなくやってくる
- ・ 肥料を入れるから虫が来る
- ・ 虫が来るから農薬を使う
- ・ 肥料を入れなければ虫は来ない
- ・ 微生物との共生関係を大切に
- ・ 自然の摂理を観察し
- ・ 植物が本来の力を發揮出来る環境をつくる

自然栽培に必要な要素

日本で流通している種子

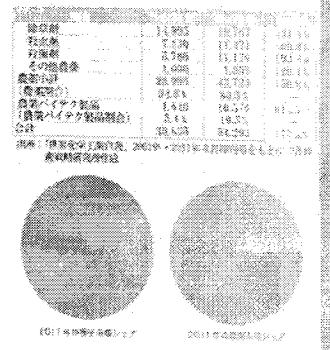
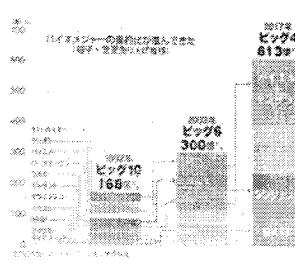
- ・ 固定種
- ・ F1種
- ・ 遺伝子組み換え品種
- ・ ゲノム編集品種

F1種の問題点

1. 農家は自分で種を探れない
ダメメンテの慣習の法則
2. 種の多様性の喪失
※地域の在来種・固定種が失われる 100年で94%
3. ほとんどの種が外国産【弱い種】
※日本の種子自給率14%
4. 化学肥料と農薬がセット
※バイオメーカー(葛井スメーカー)の手のひら
※土の劣化
5. 雄性不稔種によるF1種の栽培
※開花後の種子の数の減少の要因とも

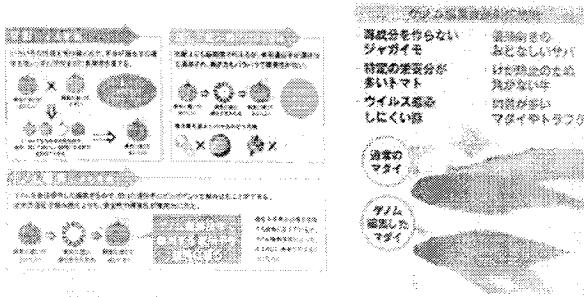
枯葉剤など戦争兵器として作っていた企業
現状遺伝子組み換え市場が伸び悩んでいる
そこで次にゲノム編集が進んできている…

バイオメジャー

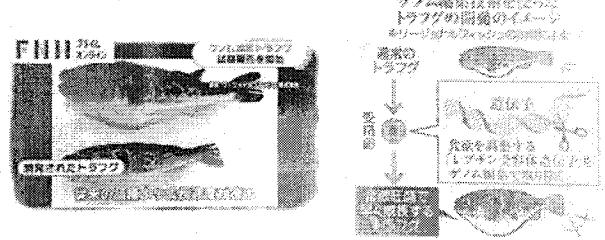


（出典）各社季報を基にアグリコム調査部作成
（資料）農業化学生物研究会、2011年の農業用バイオメジャー販売実績分析会

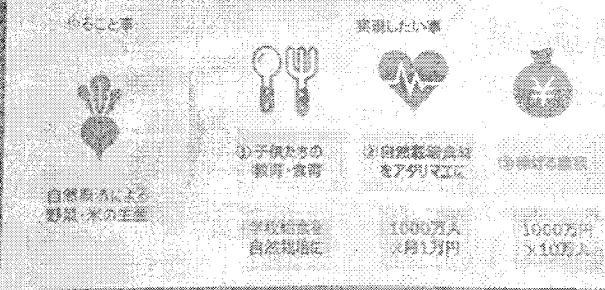
広がるゲノム編集品種



国内3例目の流通「トラフグ」(10/30)



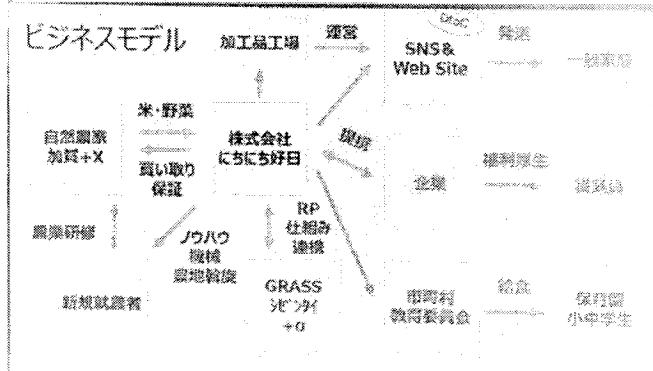
実現したいこと



How to

- I. 安心安全で高付加価値の食べ物を作る
- II. 小学校給食導入によるプランディング
- III. 価値を消費者に届け、プライシングリーダーになる
- IV. DtoCにより農家所得を上げる仕組みづくり
- V. 上記をモデル化し全国へ展開

農業を子供たちに誇れるカッコイイ職業に変えていく



令和3年11月
6日

加賀プロジェクト
幼児教育
わくわくこどもえん
園長・保育士
川口正人氏

幼児教育
わくわくこどもえん
<https://www.fcoop.or.jp/cheer/tokushu/5907/>



保育現場に入った最初は、違和感を感じていた世間体は大きく、保護者の顔色を伺いながら子供と接することに

最初は非正規雇用で、フルタイムで働いたが手取り月額12万円

		<p>現実</p> <p>目の前に子供がいるのに、子供を見ていないことに問題がある</p> <p>多くの保育園は、大人にとって都合の良い教育をしている</p> <p>騒ぐ子を黙らせると多動になる、、、増えてきているのが ASD(アスペルガースペクトラム)</p> <p>こどもたちの世界は、生き生きとして発見の毎日。</p> <p>神秘さや不思議さに目を輝かせている毎日。夢中になる毎日。</p> <p>喜び、感激、神秘などを子供と一緒に再発見し、共に感動する大人が必要。</p> <p>知ることは感じることの半分も大事ではない。豊かな感受性は、人生を輝かせる土壌である。</p> <p>センス・オブ・ワンダー</p> <p>今の教育は 100 点取るための教育 生きる力や感性を育む教育になっていない</p> <p>青信号は渡っていいよ。青で渡っても事故は存在する。</p> <p>子供は変わっていない。 社会が変わっている。 保身のための活動が多い。</p> <p>子供の気持ちを見ないで親が自分を見ていると、本能の欲求が溜まる 子供の行動を、ダメよダメよで制限し続ける 積もり積もると、どこかで爆発する 思春期の反抗行動は、自分で見て欲しい最後のメッセージ</p> <p>子供は無限の可能性を秘めている 可能性を解放し、引き出し、伸ばしていくのが本当の教育</p>
--	--	--

令和3年11月 6日	加賀プロジェクト 資産形成ラボ 海外不動産投資株 式会社 瀬谷一成氏 GLOBAL SUPPORT LIMITED 中村公一氏	<p>資産形成ラボ 海外不動産投資株式会社 瀬谷一成氏 https://gold-realestate.asia</p> <p>なぜ資産形成が必要なのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人のほとんどが、ライフプランが無い ・ 日本人はお金を稼ぐことがタブーのような発想がある人が多い ・ 人の役に立つことで収益を出すことは良いこと ・ ライフプランが無いのに、ファイナンシャルプランを立てることは出来ない <p>瀬谷さんが考える資産</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. お金を生み出すもの 2. 自分でコントロールできるもの 3. 流動性が高いもの（換金性） 4. 資産の価値が上がっていくもの <p>資産形成のイメージはニワトリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卵を買う人は消費者 ・ 鶏を買う人は資産家 ・ 鶏自体の価値を高める ・ ブランディングしていく ・ 鶏を増やす <p>GLOBAL SUPPORT LIMITED 中村公一氏 https://globalsupport.com.hk/company/profile/</p> <p>かつての日本は、GDP世界2位、一人当たりGDPは1位のアメリカの1.5倍あった</p>
---------------	--	--

2021年最新の世界GDPランキング

IMF(国際通貨基金)が発表した2021年の世界各国のGDPをもとに、ランキングを紹介しよう。(※1)

順位	国名	単位(百万US\$)
1位	米国	22,675,271
2位	中国	16,642,318
3位	日本	5,378,136
4位	ドイツ	4,319,286
5位	イギリス	3,124,650
6位	インド	3,049,704
7位	フランス	2,938,271
8位	イタリア	2,106,287
9位	カナダ	1,883,487
10位	韓国	1,806,707

円の実質為替レートは上昇し下降している
20年前から給与・資産・売上・利益を2倍にして、世界の標準で見たときに±0 しかも消費税増税分を入れるとマイナスになっている
日本は経済教育が遅れている
日本・日本人を豊かにすることが自分の存在意義である
資産形成ラボで実践する
目的 (必ず達成すべき最終の到達点) どんなことでも諦めないこと
目標 (目的達成の為の過程であり手段である) ときには修正しても良いこと
資産形成ラボの目的
過去の命・現在の命・未来の命
全ての命が尊重されること
私 (全ての人) が幸せになること
資産形成ラボの目標
日本を自立した国家にする
私が自立した人になる
その為には、現在自立していない原因を知ること
自立するための知恵を得る
自立するために実践を行う
真の経済教育であり、真の学問である
学問とは、学ぶこと+問うこと

学
子を引き上げるイメージ
教える側の責任
問
門の前に口があるイメージ
育つ側の責任
問うとは
理解が出来なかつたことを聞く（質問）
理解が間違っていないかを確認する（感想）
経済とは経世済民（世のため人のため）
経済教育とは世のため人のためになる人を育てる
日本の幸福度ランキング 62 位
OECD 加盟国 38 カ国中
経済力 21 位
長寿 1 位
選択の自由 28 位
公債・私債 23 位
他者との関係性 32 位
寛容・慈善 38 位
総合 31 位

優しくない国になってしまった、、、

経済の歴史
①戦後の日本経済
1945年終戦焼け野原
からの19年間で驚異的な成長
1964年東京オリンピック開催、経済開発協力機構（OECD 加盟）

なぜ出来たのか？
世界の工場、安定的な為替制度
ブレトン・ウッズ体制
米ドルを基軸とした固定為替相場性 1 ドル = 360 円 1 トロイオンスの金 = 35 ドル

分岐点 1971年～1973年
ニクソンショックによる変動相場制の導入
貿易黒字国

- ・ 通貨が買われる
- ・ 通貨高
- ・ 競争力の低下

貿易赤字国

- ・ 通貨が売られる
- ・ 通貨安競争
- ・ 競争力の向上

為替レートは1ドル200円に

180万円の車をイメージ

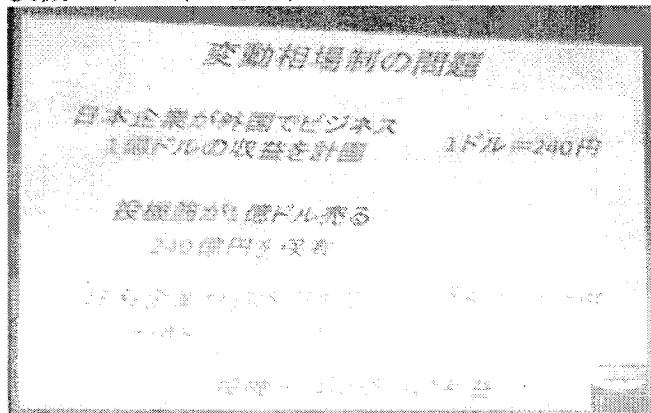
1ドル500円だったものが900円に

1985年

プラザ合意

変動相場制の問題点

投機マネー (FXなど) はタチが悪い



日本政府の打ち出した支援策として為替介入がされた

いつまで経っても米国は赤字、、、
米国政府の打ち出した対策として、為替は市場
によって決める (新自由主義的な考え方)
これがプラザ合意

プラザ合意以降の日本の問題

製造業が厳しくなる

↓

日本政府が打ち出した支援策として金利の引き下げが行われ、借り入れを増やして経済の拡大を行なった

↓

金利が下がることによって起こったこと

↓

不動産投資の活性化

↓

中曾根総理時代

アーバン・ルネッサンス構想

高層ビルの高さ制限の撤廃

↓

不動産価格上昇により生じたこと

↓

バブル経済

庶民が自宅を購入できない

↓

平成の鬼平、日銀の三重野総裁が実施したこと

↓

金利の上昇 3年で 8% 上げた

↓

バブル崩壊

景気低迷、巨額の不良債権

↓

日本政府の対応策により、再度金利を下げた

↓

1995年バブル崩壊後でも日本のGDPは世界で2位を打ち出した

家電、ゲーム、ビデオ、車など

↓

日本のものが世界中で売れた

なぜ日本は世界一になれたのか？

ジャパンアズナンバーワン（エズラ・ヴォーグル）

資本主義対資本主義（ミシェル・アルベール）

↓

理由は、日本型資本主義経済があったから

ハード面
護送船団方式 × □ 間接金融 × □ 株式待合

護送船団とは、護衛艦を付けながらみんなで一緒に移動する船
↓
落ちこぼれを作らない（落ちこぼれに合わせる）

間接金融とは、直接金融の反対で銀行を間に入れている

戦前は直接金融があったが、戦後は間接金融が主流になった

護送船団方式 × □ 間接金融
大企業も高い金利を支払ったので、預金者が高い利息を受け取れた

株式持合
金融機関が株主になっていた

当時は会社は誰のもの？自分たちの会社という考え方
終身雇用、社員教育、高い労働分配率

日本経済の強さは一億総中流
強い消費者、巨大な国内市場があった

ソフト面
知識 × □ 技術 × □ 道徳
↓
高い教育水準があった

なぜ日本は教育水準が高かったのか？

②教育と経済の歴史

日本人の誇りとして世界で最も高い教育水準があった

江戸時代の識字率 70%

↓
なぜ高かったのか？

↓
大和

全ての個が統合した国家だから

↓
統合とは？

↓
統一・融合・統合

統一とは混ぜて一つにする

融合は混ぜたときに重なった部分があり、重なっていない部分は価値がない (WINWIN はかさないでいい部分があり、完全な統一ではない)

統合は混ぜたときに重なった部分があり、重なっていない部分に価値がある (WINWIN 以外に違いのある部分に価値を感じて尊重できる)

↓
統合の国家は個を大切にして、重なり合わない部分を尊重して、相手を豊かにする連鎖反応が出来る

他人ファーストが自分に返ってくる

統合の力を持った国家だと

↓
臣民の豊かさ = 君主の豊かさ

臣民 = 国家 = 臣民

他者が豊かになれば、自分も豊かになる

これが大和

社員 = 会社 = 経営者

会社のため、同僚のために頑張る社員

日本のエリート教育

古代は中国語、漢字で勉強していた 諸子百家
(孔子老子など)

淮南子 (エナンジ) 中国の古典 = 日本書紀の冒頭は淮南子の話と一緒に

中世は四書五経 (論語・大学・中庸など)

吉田松陰 至誠を大切にした (中庸)

一番の近道は、至誠で歩むこと。

二宮金次郎が読んでいる書物は？

↓
大学（修己知人の実践書）自分が立派になることで、他者に良い影響を与えること

前半は自己修養、後半は他者を助ける政治

三綱領（明徳を明らかに、たみに親しむ、至善に勤める）

八条目的

1. 自分自身を正す
2. よって自らが知る
3. 知ることで意識感情が正常になる
4. 正常になると心も正しくなる
5. 心がたらしくなると身が修まる
6. 修まると家をととのうようになる
7. 家が整うと地域が整う
8. 地域が整うと国が整う

孔子

15にして人の役に立つ、人々を救済する学びを得よ

大学

↓
中国で紀元前124年管領養成学校として安定のための仕組みづくり（かつてあったもの）

1. 四天王寺（今で言う医療・福祉の寺院）
2. 義倉・社倉（今で言う防災倉庫的穀物倉庫）
3. 堂島米会所（今で言う先物取引）米の価格の安定化=江戸時代の人間のモラルの高さ、知性の高さの象徴である

4. 藩校・寺子屋（今で言う学校、塾）

かつての日本の教育は知的修練の場としての考えはなかった。

目的は「真の人間」になるためだった。

そして日本は世界で最も安定した国家、繁栄した国家であった

世界一の繁栄から、現在の衰退はなぜ起ったのか？？？

20年日本はマイナス、アメリカ、中国、韓国全て経済成長を成し遂げている

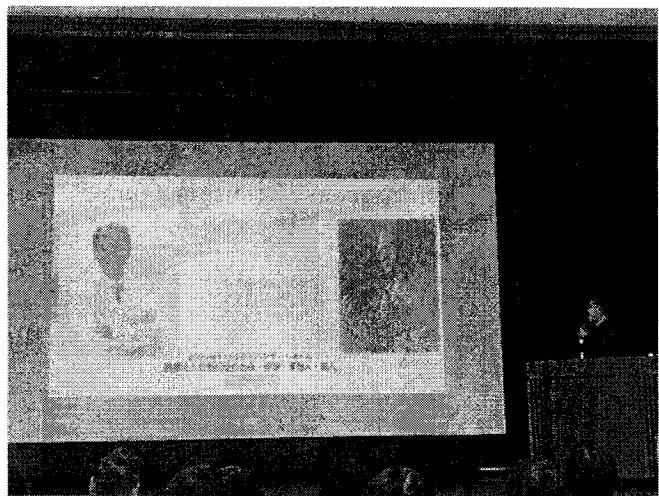
例えば、テスラは時価総額1兆ドル
1社で114兆円
日本のトップ企業10社の合計でもテスラより下
テスラの売上はトヨタの1/8
なぜ失われた20年なのか?
人口減少、マーケットの縮小?
↓
人口減少を理由にしてはいけない、、、
人口が減少しても経済は成長する国はある（ドイツ）
↓
経済政策の失敗である
1990年代～
・ 低金利政策
・ 通貨安政策（デフレ）実質的な円安
・ 労働者派遣法改正
↓
その為国民に起きた弊害
↓
経営者の甘やかし（淘汰されるべき経営者が淘汰されない）
米国企業の借入金利は現在5%で回っている
さらに
1996年～2001年
金融制度改革（金融ビックバン）
1. 護送船団方式からの脱却
2. 間接金融から直接金融へ（貯蓄から投資へ）
市場原理を重視した経済政策
1998年
外為法改正
1. 日本人による海外投資が容易に
2. 外国人による日本投資が容易に
資本戦争の開戦
資本を持てば、相手を制覇できる
今現在の日本の資本比率は？

外国人株主比率(1位～25位)

伊藤レポート
ROE 経営
海外投資家が好むのは自己資本比率 8 %以上の企業
日本人と雇用
雇用の 30 %が大企業
大企業=プランテーション
なぜ、経済政策が失敗したのか？？
どうすれば良いのか？？
今後の講座で解説
他者が困れば、自分も困る
他社の問題は自分の問題
経済教育の遅れにより、眞の投資家が育成出来ていない
↓
投資家とは？
資産を活用し収益を得る人
↓
資産とは？
↓
言葉の定義を知る、対義語を知る
↓
有り難い=滅多にない
ありがとうの反対は当たり前
↓
自分のお金
資産=株、債券、不動産、経営
資産=お金を産むもの、時間を生むもの、命を産むもの知識、技術、知恵、家族、仲間、地域、国家、世界、社会、会社、信用、信頼、絆

令和3年11月
7日

コロナ禍を生き抜く予防医学と食の重要性
医療法人社団誠敬会
会長
吉野敏明 ドクター



コロナ禍を生き抜く予防医学と食の重要性
今起きている問題は、分断である
意見の違いで家族の断絶、夫婦の断絶、仲間の断絶
吉野敏明 ドクターは、再生医療
200症例以上のオペをされている
糖尿病・高脂血症は再生医療が出来ない
先に糖尿病・高脂血症を治さなければ治療がスタート出来ない
免疫を上げることが治療である
ワクチンは免疫力を下げるからダメ
ガンは1年間で40万人亡くなっている
コロナの比ではない
細胞の中に乳酸が入り始めるとガンになり始める
ガンになる原因を掴まなくてはならない
原因是食である
生き抜く為の生き方とは何か?
何故我々は絶対死ぬのに生まれてくるのか?
生命の歴史を知らなければならない
歴史を学ぶ理由
人の失敗を自分の失敗として把握する為
歴史を学ぶには蓋然性が大事
我々の先祖はイソギンチャク
イソギンチャクは小腸そのもの
食べ物は口で咀嚼して唾液の免疫が小腸に必要な物の吸収の指示を出す
生物も地球も宇宙も原子も素粒子も、全てはフラクタル

母体の羊水は 35 億年前の海の成分と一緒に
奇形児などは妊娠する母体にトランス脂肪酸が
有ると可能性がある
受精した瞬間に悪影響を起こしている
受精する 2 年前ぐらいから気をつけなければな
らない
エピジェネシス
獲得形質は遺伝する
進化する意思を無くすと成長しない
人は何故必ず死ぬのに生まれてくるのか?
成長しよう、成長しよう、成長しようと思い努
力することに答えがある
人は万物の靈長である
何故日本に生まれたのか?
日本は 5000 年前には鉄器を作っていた
日本において、鉄の発明と農業の発明が意味す
ること
農業の発明により進化した
生体のみならず、万物は全て波動である
波動測定器メタトロン
波動に悪影響を与えていた食べ物を知れる
食べ物を変えた結果波動が変わり健康に良い変
化を齎す
心・感情・病気は三位一体
患者は心に串が刺さっている
新型コロナウィルスの件
ドイツのドロスデン医師が遺伝子バンクに登録
PCR 検査も開発
アンソニーステファンファウチ
40 年アメリカ大統領にウィルスの助言している
コロナウィルスの眞実
・ ロックダウンした国の方が感染者が多い
・ PCR 検査の分母になると患者が増える
・ 110 日周期で波が来ている
・ 波の高さは PCR 検査で操作できる
・ 緊急事態宣言を出したエリアと出してい
ないエリアも同じ感染者数の推移は変わ
らなかった。マスクをしてもウィルスの
侵入は防げない

新型コロナウイルスのまとめ（これで今日の講演は終わりで良い!!）

①コロナウイルスはRNAウイルスであり、インフルエンザなどに比べれば、感染性は遙かに低い。
②次にが多めなのでワクチンは無効である。
③全てのウイルスに対して、マスクは「感染者からの飛沫細胞防止」にならぬ、ウイルスの吸引防止には一切効果はない。
④感染者の増加は完全に準備充実であり、医療事態宣言も、飲酒の抑制も、一切効果はない。経済効率を踏まれば、完全に失敗である。
⑤そもそも、新型コロナウイルスは人造ウイルスであり、目的はmRNAワクチンを世界中の人に供給して、國際金融資本が金儲けするための作戦である。

ワクチンの闇

- ・ ワクチンの成分で悪いのは有機水銀、アルミニウム
- ・ ウィルスを生物から取り添加物を加えて作る
- ・ 殆どのワクチンは99%感染拡大が無くなつてから作成している
- ・ 子宮頸がんは子宮内の免疫が落ちるからパピロマウィルスが増殖する
- ・ コロナワクチン接種1回14000円医者に入る
- ・ ジフテリア、ポリオの症例は2000年に1例なのに必要なのか？
- ・ mRNAワクチンを打った体は元に戻せない
- ・ 医薬複合体が作った3大偽薬利権、向精神薬・抗がん剤・ワクチン

ワクチンを打つことの合理性は有るのか？

無い

抗生素質やサプリメントで健康になることはない

医食同源

食で治せない病気は医者でも治せない
化学物質を食べるから病気になる
ポテトチップはジャガイモにエンジンオイルを着けて食べているのと同じ
冷凍食品はトランス脂肪酸が入っている
加工食品は食べてはダメ
もともと白砂糖は台湾でファイザーが作っていた

	<p>戦後 GHQ によってチョコレートを撒いてからガンが増えていた カカオは奴隸を使って栽培している 韓国の 3 大企業は外資に乗っ取られている 日本の医療費は 130 兆円マーケットで外資に狙われている 地球温暖化もおかしい、地球の温度が 1 番高かったのが恐竜時代でその頃は北極、南極に氷が無かつたし二酸化炭素は多かった 今は氷河期 地球に 1 番影響を及ぼすのは月で、女性の排卵は 28 日周期は月の周期 メディアが第一の権力で有り、情報のコントロールがされている 日本の経済成長が 30 年も止まっているのは医療費が増えているから 牛乳はエストロゲンまみれ 小麦粉、砂糖の危険性に気づく必要がある 何故日本に入ってきたのか歴史を知ることが重要 養殖魚は化学物質が使われている</p> <p>感想</p> <p>所感</p> <p>加賀プロジェクトの農業や子育て、金融教育などトータルなまちづくりにより、移住者が増えてきていることに都心離れの需要を感じる。公教育を当たり前に受けさせることができたとして本当に良いことなのか？立ち止まって考えるきっかけになった。 加賀プロジェクト研修の全体を通して感じたのが、本当のまちづくりとは日本や世界に起こってきた歴史をしっかりと見つめて、その歴史的な経緯を踏まえて現実を直視し、ある意味常識を非常識と考えて本質を掴む必要があると感じた。特に、現状の市政運営において食の問題や医療の問題、教育、お金の問題と生活に密着した大切な本質の部分が見落とされているように感じる。医療の闇は深い。現在続いているコロナ禍の早期収束のための活動は重要であるが、一方でこの騒ぎを歴史から学ぶ視点からも今後の検証も重要であると感じた。加賀プロジェクトの本質を見極めた取り組みから、今後の飯能市の市政運営の政策づくりや監視力に繋がる大変有意義な研修であった。</p>
--	---